

【記入例】老齢厚生年金・退職共済年金 加給年金額加算開始事由該当届

①②欄

受給権者（年金に加算がつく人）について記入してください。

- 記入例では年金太郎さんについて記載しています。

③～⑦欄

加給年金額の対象者（配偶者や子）について記入してください。

- 記入例では年金花子さんについて記載しています。
- 加給年金額の対象者が「子」で、かつ障害の状態にある場合の添付書類は、お近くの年金事務所にお問い合わせください。

受給権者の住所欄

アパート・マンションにお住まいの場合は名称、部屋番号も記入してください。

受給権者の電話番号欄

平日の日中に連絡を取りやすい番号を記入してください（携帯電話など）。

生計維持申立欄

必ず記入してください。

様式第229号

老齢厚生年金・退職共済年金 加給年金額加算開始事由該当届

基礎年金番号（10桁）で届出する場合は左詰めでご記入ください。

①	個人番号（または基礎年金番号）および年金コード	X X X X X X X X X X X X X X 1 1 5 0
②	生年月日	昭和 平成 令和 X X X X X X X X
③	フリガナ	年金太郎
④	氏名	年金太郎
⑤	個人番号	X X X X X X X X X X X X X X
⑥	配偶者との続柄	配偶者 子 1
⑦	障害の状態にある・ない	ない
⑧	現在、公的年金制度等から老齢・退職または障害を支給事由とする年金を受けていますか。	ア 老齢・退職の年金を受けている。 イ 障害の年金を受けている。 ウ いずれも受けていない。
⑨	受けているときは、その公的年金制度の名称および個人番号（または年金証書の基礎年金番号）・年金コード、恩給証書等の記号番号	名称 個人番号（または基礎年金番号）・年金コード等
⑩	その支給を受けることとなった年月日	昭和・平成・令和 年 月 日
※年金額改定	改定年月日 事由	改定年月日 事由
54	年 月 日 25	年 月 日 37
※支払調整	事由 調整額	※配偶者基礎年金番号・年金コードの訂正・収録 80
57	基・付 +・- 上・独 +・-	1 2
※加対者変更53	変更前 生年月日 続柄 障害 変更後 生年月日 続柄 障害	5・7 9 年 月 日 変更後 5・7 9 年 月 日
時効区分		令和 XX 年 XX 月 XX 日 提出

郵便番号 168-0071

住所 杉並区高井戸西3-5-24 O OマンションXXX号室

フリガナ 年金太郎

氏名 年金太郎

電話番号 XX (XXXX) XXXX

生計維持申立

上記の加給年金額の対象者は、老齢厚生年金の受給権を取得した当時（昭和16年4月2日以後に生まれた男子および昭和21年4月2日以後に生まれた女子で、特別支給の老齢厚生年金の受給権を有する方については、特別支給を受けることができることとなった当時）、生計を維持していることを申し立てる。

令和 XX 年 XX 月 XX 日 受給権者氏名 年金太郎

主な添付書類と使用目的

	添付書類（コピー不可）	使用目的
1	受給権者の戸籍抄本または戸籍謄本（記載事項証明書）	受給権者と加給年金額の対象者（配偶者や子）の身分関係を確認するため
2	世帯全員の住民票の写し（続柄・筆頭者が記載されているもの）	受給権者と加給年金額の対象者（配偶者や子）の生計同一関係を確認するため
3	加給年金額の対象者（配偶者や子）の所得証明書、非課税証明書のうち、いずれかひとつ（加算開始日※からみて直近のもの）	加給年金額の対象者（配偶者や子）が受給権者によって生計維持されていることを確認するため

注：1、2の添付書類は加算開始日より後に発行されたものでかつ提出日前6か月以内のものをご用意ください。

なお、2、3の添付書類は、該当届に個人番号（マイナンバー）を記入した場合は、添付を省略できます。

また、審査の過程で、添付していただいた書類以外の書類が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※加算開始日の主な例

- ① 60歳時点で240月未満の受給権者が、65歳到達時に240月を満たした場合 → 65歳の誕生日の前日
- ② 受給権者が65歳以上70歳未満の間で退職して240月を満たした場合 → 資格喪失日
- ③ 受給権者が70歳で240月を満たした場合 → 70歳の誕生日の前日

用語解説

「240月を満たす」

年金額のもととなる厚生年金保険もしくは共済組合の期間が240月以上に達している状態のこと。

「資格喪失日」

厚生年金保険や共済組合の被保険者（組合員）資格を失った日。通常は退職日の翌日となります。